

2011(平成23)年度 第27期事業報告書

自 2011(平成23)年4月
至 2012(平成24)年3月

財団法人 日中医学協会

目 次

事業報告の部

I. 研究助成事業	
A. 日中笹川医学奨学金制度	
1. 第33期研究者受け入れ事業	1
2. 第34期研究者受け入れ事業	1
3. 第34期研究者来日前実施事業	2
4. 第35期研究者の選抜・来日前実施事業	3
5. 関係機関との協議及び運営委員会の開催	3
6. 笹川医学奨学金進修生同学会(同窓会)に対する協力	7
7. 日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会に対する協力	9
B. 共同研究等助成事業	
1. 2011年度助成金受給者	11
2. 委員会の開催	12
3. 日本財団助成15周年記念共同研究等助成事業報告会の開催	13
4. 2012年度助成金受給者募集	13
5. 2011年度若手在留中国人研究者助成事業	13
C. 清華大学玉泉病院てんかんセンター派遣医師受け入れ事業	14
D. 松和会との中国人医学研究者育成プロジェクトについて	14
II. 学術会議開催	
A. 主催事業	
1. 日中医学交流会議	14
B. 共催・後援事業	
1. 2011年度医学生のための漢方医学セミナー	15
III. 日中医療保健協力	
1. 中国医療機関への専門家派遣事業	15
2. 医療関連訪日団に対する協力	15
3. 日中乳幼児栄養専門家交流の実施	16
4. 伝統医学交流訪中団・会員訪中団の派遣	16
5. 金原記念日中医学交流基金への協力	17
6. 日中国際共同研究プロジェクト	17
IV. 広報事業	
1. 機関誌「日中医学」の発行	18
2. 「NEWS LETTER」の発行	18
3. ホームページの拡充	18
4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力	18
5. 委員会の開催	18
V. 経済産業省受託事業	
1. 経済産業省受託事業平成22年度医療サービス国際化推進事業(中国関連調査等)	19

総務報告の部

I. 役員を選任について	
A. 理事の選任	22
B. 監事の選任	22
C. 役員を選任について	22
D. 常任理事の選任	22
E. 評議員の選出	22
II. 会員拡大と募金活動について	
A. 会員数の推移	23
B. 募金活動	
1. 年末寄付金・その他の寄付金	23
III. 協会運営に係る事項	
A. 理事会・評議員会の開催	24
B. 常任理事会の開催	25
C. 公益法人改革への対応について	25
D. 事業計画・財務委員会の開催	26
E. 各運営委員の委嘱	26
F. 日本財団の補助金について	27
資 料	
日中笹川医学奨学金制度第34期研究者名簿	28
監査報告書	29

事業報告の部

1年間過ごした感想を日本語で発表してもらった。

I. 研究助成事業

A. 日中笹川医学奨学金制度

2007年8月26日、日本財団笹川陽平会長と中国衛生部蔣作君副部長により「日中笹川医学奨学金制度協定書」が調印された。これは「笹川医学奨学金」の第3次制度ともいべきもので、5年間に150名の中国医学研究者を招請する。本制度の運営は、中国側は中国衛生部国際交流センターが担当し、日本側は日中医学協会、笹川記念保健協力財団が担当することとなった。

2011年度は、前年度に来日した本制度第33期研究者、2011年9月に来日した第34期研究者の受け入れ及び2012年度来日予定の第35期研究者の選抜を行った。

1. 第33期研究者受け入れ事業

(1)来日

2010年8月31日(火) 30名来日

(2)東日本大震災に伴う研究者の資格辞退について

2011年3月11日に発生した東日本大震災による放射能汚染の身体への影響や家族の心配等から研究者6名が日本で研究を続けることを断念し、笹川生の資格辞退届けを提出、これにより第33期研究者は24名となった。

(3)研究報告会

開催日：2011年8月25日(木) 10:30～16:40

場 所：日本財団ビル 大会議室A

出席者：役員・委員・指導責任者等 55名
第33期研究者 23名

内 容：研究者1名が実父急死により早期帰国し、23名が田平武日中笹川医学奨学金運営委員会副委員長を座長とする研究者報告会で1年間の研究成果を発表した。各研究者には各自の研究発表の前に、日本で

(4)研究修了式・歓送会

開催日：2011年8月25日(木)

修了式 17:00～17:40

歓送会 18:00～19:30

場 所：日本財団ビル 大会議室A・食堂

出席者：役員・委員・指導責任者等 52名
第33期研究者 23名

内 容：鄭哈中国大使館一等書記官、尾形武寿日本財団理事長のご臨席の下、森岡副会長から研究者に研究修了証が授与された。歓送会では、指導責任者、来賓らと交えて和やかに懇談した。また、各自の研究発表の前に日本語で発表してもらった日本滞在の感想が特に素晴らしかった以下の研究者3名を表彰した。

戒 龍 北里大学東病院内視鏡科

瀋 婷 大阪府立母子保健総合医療センター
看護部

鄒 峻 名古屋大学大学院医学系研究科
消化器内科学

(5)帰国

帰国日：2011年8月26日(金)

第33期研究者23名は、研究者自身の手配で各地の空港から離日、帰国した。

2. 第34期研究者受け入れ事業

(1)来日

2011年9月6日(火) 30名来日(名簿後掲)

(2)歓迎式典・歓迎レセプション

開催日：2011年9月7日(水)

歓迎式典 17:00～18:15

歓迎レセプション 18:30～19:45

場 所：東京ガーデンパレス

内 容：式典には、指導責任者、来賓、関係役員等124名が出席した。式典では、大使と医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会の各代表者(含む代理出席)が祝辞を述べられた。なお、式典に先立ち、事務局による研究者へのオリエンテーションを実施した。歓迎レセプションは127名が出席した。

(3)研究開始

2011年9月8日(木)、研究者は各自研究先へ移動し、9日(金)から研究を開始した。

(4)第24回箱根セミナーの開催

開催日：2011年10月28日(金)～30日(日)

場 所：ホテル箱根アカデミー

内 容：星合昊日中笹川医学奨学金運営委員会委員を座長に「より良い研究生活を送るために」をテーマに役員と研究者がディスカッションを行った。セミナー終了後研究者は、初秋の箱根を散策し、英気を養った。

(5)外国医師・外国歯科医師臨床修練資格取得

第33期・第34期研究者で2011年4月1日～2012年3月31日の間に外国医師・外国歯科医師臨床修練資格を取得した者。

・第33期研究者

2011年4月18日許可 2名

梁 秦川 医師 国立精神・神経医療研究センター病院

鄒 峻 医師 名古屋大学大学院医学系研究科

2011年5月26日許可 1名

姜 峰林 医師 北里大学医学部

・第34期研究者

2011年12月13日許可 1名

王 穎 歯科医師 北海道大学歯学部

2011年12月29日許可 4名

宋 黄鶴 医師 旭川医科大学

陳 瑞強 医師 慶應義塾大学医学部

陳 巍 医師 大阪大学医学部

尹 暁輝 医師 長崎大学

2012年2月1日許可 1名

蔣 琦亮 医師 浜松医科大学

(6)東日本大震災の影響と対応

2011年3月11日(金)に発生した東日本大震災は、日中笹川医学奨学金制度にも影響を与えた。幸い研究者に地震による負傷者などは無く、地震発生翌日には第33期研究者の全員の無事が確認できたが、その後16名が一時帰国(1名は関西方面へ避難)した。協会は随時安達理事長、橋本日中笹川医学奨学金運営委員会委員長、田平同委員会副委員長ら関係役員を中心に研究者への対応について協議を行うとともに、衛生部国際交流センターとも頻りに連絡を取り合った。協会と衛生部の協議の結果、帰国4か月前となる4月25日までには現研究先に戻るよう決定し、衛生部を通じて研究者に通知した。11名の研究者が呼びかけに応じ、期日までに日本に戻り研究を再開したが、5名が来日に応じず、また後日、1名が放射能汚染を理由に帰国したことから、6名の研究者が本制度研究者としての資格を喪失した。

3. 第34期研究者来日前実施事業

(1)訪日前面接試験への協力

実施日：2011年7月14日(木) 08:00～15:00

開催地：衛生部中国医科大学語学研修センター

(遼寧省瀋陽市)

備 考：本制度では、研究者に対し3か月間の来日前語学研修の受講を義務付けている。協会は衛生部が語学研修修了時に実施している面接試験に協力するため、比留間事務局長を派遣し、語学研修の成果の確認を行った。

(2)事前オリエンテーションの実施

実施日：2011年7月14日(木) 15:00～17:00

開催地：衛生部中国医科大学語学研修センター

(遼寧省瀋陽市)

概 要：協会は比留間事務局長を派遣し、本奨学

金制度の仕組み等について説明を行うとともに、研究者からの質問に答えた。同学会の協力により、同会常務理事の韓晶岩氏から研究者に日本で注意すべき事項について説明してもらった。

4. 第35期研究者の選抜・来日前実施事業

(1)第35期研究者の募集

期 間：2011年10月1日(土)～2012年2月7日(火)

概 要：衛生部国際交流センター、協会、同学会の各ホームページに募集要項を掲載した。また、協会から研究者OBに対し優秀な若手医師に応募を促進するよう通知した。

(2)日中合同面接試験

実施日：2012年3月4日(日)～5日(月)

場 所：衛生部国際交流センター会議室

概 要：第35期生候補者40名に対する面接試験を、日中双方3名ずつの面接官により実施した。面接は研究者が得意とする言語(日本語或いは英語)で行い、終了後、面接官による評価が行われ、研究者30名、補欠5名を内定した。
なお、事務局から末原珠生、林興莉両担当職員が同行した。

面接官：

日本側面接官：

橋本敬太郎 日中笹川医学奨学金運営委員会委員長
横浜薬科大学臨床薬理学教授

田平 武 日中笹川医学奨学金運営委員会副委員長
順天堂大学大学院医学研究科認知症診断予防治療学教授

星合 昊 日中笹川医学奨学金運営委員会委員
大阪府済生会富田林病院院長

中国側面接官：

于 修成 衛生部科技教育司副司長

董 建群 中国疾病予防コントロールセンター教授

潘 伯臣 中国医科大学附属盛京医院婦産科教授

(1)三者会議

開催日：2011年9月7日(水) 14:00～16:00

場 所：東京ガーデンパレス「鶴」

出席者：

衛生部

王 立基 国際合作司副司長

馮 勇 国際合作司亜非处处长

王 蓓 国際交流センター外聯一部副部长

日中医学協会

森岡恭彦 副会長

安達 勇 理事長

橋本敬太郎 日中笹川医学奨学金運営委員会委員長

田平 武 日中笹川医学奨学金運営委員会副委員長

林 謙治 日中笹川医学奨学金運営委員会委員

比留間聡 事務局長

末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当職員

華 海艶 日中笹川医学奨学金制度担当職員

笹川記念保健協力財団

紀伊國献三 理事長

松本源二 事務局長

槇 洽子 日中医学奨学制度室長

八百板喜美 総務課職員

日本財団(オブザーバー)

尾形武寿 理事長

佐藤英夫 常務理事

原田貴美子 公益・ボランティア支援グループ
福祉チームチームリーダー

及川春奈 公益・ボランティア支援グループ
福祉チームリーダー

胡 一平 笹川平和財団

概 要：安達理事長より、第33期研究者の研究修了と帰国について報告後、第35期研究者の募集及び招請に関する日程、運営方法について協議・決定した。また、尾形日本財団理事長が同会議場で述べた本奨学金制度継続に対する日本財団の考え方について、三者で協議を行った。
会議の席上、衛生部より衛生部の次期奨学金制度構想案が口頭で示された。

5. 関係機関との協議及び運営委員会の開催

(2)第10回日中笹川医学奨学金運営委員会

開催日：2012年3月9日(金) 19:00～20:30

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：委員18名、
オブザーバー(安達理事長)1名
事務局3名

概 要：先に中国で実施した面接試験の結果及び面接試験前に実施した書類審査の結果に基づき、第35期研究者30名、補欠5名を決定した。次期奨学金制度についても意見交換を行った。

(3)次期奨学金制度検討のためのワーキンググループ

・第9回ワーキンググループ

開催日：2011年4月14日(木) 18:30～20:30

場 所：日中医学協会事務所

出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、
林委員、酒谷常任理事、事務局2名

概 要：日本財団に提出する次期奨学金制度提案書内容について協議を行った。

・第10回ワーキンググループ

開催日：2011年5月11日(水) 17:10～18:40

場 所：日中医学協会事務所

出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、
林委員、酒谷常任理事、事務局3名

概 要：日本財団に提出する次期奨学金制度提案書内容について協議を行った。

・次期奨学金制度提案書提出

提出日：2011年5月16日(月)

提出先：日本財団

・第11回ワーキンググループ

開催日：2011年5月23日(月) 18:30～20:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、
林委員、事務局2名

概 要：先に日本財団に提出した提案書、及び今後について協議を行った。

・第12回ワーキンググループ

開催日：2011年6月14日(火) 18:00～19:00

場 所：東京ガーデンパレス「鶴」

出席者：森岡副会長、安達理事長、橋本委員長、
林委員、紀伊國(笹川記念保健協力財団)理事長、
事務局2名

概 要：次期奨学金制度について協議を行った。

・第13回ワーキンググループ

開催日：2011年6月29日(水) 18:00～19:30

場 所：日中医学協会事務所

出席者：森岡副会長、安達理事長、橋本委員長、
酒谷常任理事、事務局2名

概 要：次期奨学金制度について協議を行った。

・第14回ワーキンググループ

開催日：2011年7月19日(火) 18:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：森岡副会長、安達理事長、橋本委員長、
林委員、酒谷常任理事、加我常任理事、
紀伊國(笹川記念保健協力財団)理事長、事務局2名

概 要：7月18日に北京で行われた衛生部国際交流センターとの協議結果をもとに、今後の進め方について協議検討した。

・第15回ワーキンググループ

開催日：2011年8月25日(木) 19:40～21:00

場 所：笹川記念保健協力財団応接室

出席者：

・協会 森岡副会長、安達理事長、橋本委員長、
田平副委員長、林委員、事務局3名

・笹川 紀伊國理事長、松本事務局長、榎、
八百板

概 要：三者会議での協議内容について協議を行った。

・第16回ワーキンググループ

開催日：2011年8月31日(水) 18:00～20:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：森岡副会長、安達理事長、橋本委員長、
田平副委員長、林委員、酒谷常任理事、
事務局3名

概 要：三者会議での協議内容について協議を行った。

・第17回ワーキンググループ

開催日：2011年10月14日(金) 18:00～19:40

場 所：日中医学協会事務所

出席者：森岡副会長、安達理事長、橋本委員長、
田平副委員長、事務局 2 名

概要：三者会議で衛生部が提案した構想について検討を行った。

・第18回ワーキンググループ

開催日：2011年12月1日(木) 18:30～20:30

場所：日中医学協会事務所

出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長、
林委員、酒谷常任理事、事務局 3 名

概要：12月8日に衛生部国際合作司との協議内容について検討を行った。

・第19回ワーキンググループ

開催日：2012年2月17日(金) 19:00～20:15

場所：日中医学協会事務所

出席者：森岡副会長、安達理事長、橋本委員長、
田平副委員長、事務局 3 名

概要：2月13日に北京で行われた尾形日本財団理事長と陳竺衛生部長らとの協議結果と中国側から再提案された構想について報告、検討した。

(4)次期奨学金制度検討のための事業

・中国衛生部訪日団の招請について

期間：2011年9月6日(火)～9月9日(金)

概要：三者会議の実施、第34期研究者歓迎式典、研究先の視察を目的に、中国衛生部訪日団を招請した。

団名簿：

団長 王 立基 衛生部国際合作司副司長
団員 馮 勇 衛生部国際合作司亜非处处长
王 蓓 衛生部国際交流センター
外聯一部副部长

視察先：名古屋大学医学部、
東京大学医科学研究所

(5)関係機関との協議

・衛生部国際交流センターとの事務レベル協議

開催日：2011年7月11日(月) 15:50～16:45

場所：衛生部国際交流センター応接室

出席者：

衛生部国際交流センター

周 簡 民間連絡一部部長

王 蓓 外聯一部副部长

日中医学協会

比留間聡 事務局長

上野恵子 総務課職員

概要：第34期・第35期研究者の日程について協議すると共に、次期奨学金制度について意見交換した。

・衛生部国際交流センターとの協議

開催日：2011年7月18日(月) 09:00～10:30

場所：衛生部国際交流センター応接室

出席者：

衛生部国際交流センター

田 民 副主任

周 簡 民間連絡一部部長

王 蓓 外聯一部副部长

日中医学協会

橋本敬太郎 常任理事

比留間聡 事務局長

概要：次期奨学金制度の両国の状況や考え方について意見交換した。

・安達理事長と衛生部国際交流センターとの協議

開催日：2011年8月3日(水) 14:00～16:00

場所：衛生部会議室

出席者：

衛生部、衛生部国際交流センター

任 明輝 国際合作司司長

馮 勇 国際合作司亜非处处长(新任)

周 簡 国際交流センター民間連絡一部部長

戴 維 国際交流センター職員

馬 国際合作司職員

日中医学協会

安達 勇 理事長

比留間聡 事務局長

概要：現行制度に対する衛生部の評価、次期奨学金制度に対する衛生部の考え方や、9月に来日する衛生部訪日団について協議を行った。

・次期奨学金制度衛生部構想案

10月25日(火)、衛生部国際合作司より次期奨学制度衛生部構想案を受理。

・次期奨学金制度衛生部構想(修正)案

11月21日(月)、衛生部国際合作司より次期奨学制度衛生部構想(修正)案を受理。

・安達理事長と衛生部との協議

開催日：2011年12月8日(木) 11:30～13:30

場 所：遠通維景国際酒店

出席者：

衛生部、衛生部国際交流センター

馮 勇 国際合作司亜非处处长(新任)

戴 維 国際交流センター職員

日中医学協会

安達 勇 理事長

橋本敬太郎 常任理事

比留間聡 事務局長

概 要：衛生部より陳竺部長が日中笹川医学奨学金制度を高く評価しており、継続したい意向であるとの報告があった。その他中国の留学システムについても報告を受けた。

・尾形日本財団理事長と衛生部国際合作司との懇談

開催日：2011年12月10日(土) 12:00～14:00

場 所：三亜万嘉戴斯度假酒店

出席者：

日本財団

尾形武寿 理事長

佐藤英夫 常務理事

胡 一平 笹川平和財団(通訳)

衛生部、衛生部国際交流センター

馮 勇 国際合作司亜非处处长(新任)

戴 維 国際交流センター職員

日中医学協会

安達 勇 理事長

橋本敬太郎 常任理事

比留間聡 事務局長

概 要：馮处长より衛生部が先に提案した次期奨学金制度構想について説明があった。尾形理事長より、本奨学金制度に対する日本財団の考え方について説明があった。

・衛生部国際合作司との事務レベル協議

開催日：2012年1月6日(金) 10:30～11:00

場 所：衛生部会議室

出席者：

衛生部

馮 勇 国際合作司亜非处处长

戴 維 衛生部国際交流センター職員

日中医学協会

比留間聡 事務局長

概 要：衛生部と次期奨学金制度について、先に日本財団が示した考え方や、衛生部の構想案について意見交換した。

・尾形日本財団理事長と陳竺衛生部長との会談

開催日：2012年2月13日(月) 10:30～11:30

場 所：衛生部会議室

出席者：

衛生部・衛生部国際交流センター

陳 竺 部長

王 立基 国際合作司副司长

田 民 衛生部国際交流センター副主任

馮 勇 国際合作司亜非处处长

張 雲 国際合作司亜非处項目官员

周 簡 国際交流センター外聯一部部長

戴 維 衛生部国際交流センター外聯一部通訳

日本財団

尾形武寿 理事長

佐藤英夫 常務理事

原田貴美子 公益・ボランティア支援グループ
福祉チームチームリーダー

及川春奈 公益・ボランティア支援グループ
福祉チームリーダー

福田英夫 広報グループグループ長

于 展 笹川平和財団室長

日中医学協会

比留間聡 事務局長

概 要：陳部長は、これまでの笹川医学奨学金制度を高く評価すると共に、制度・経費について見直し、継続したいと述べた。尾形理事長は、社会情勢が変化しており、それを踏まえた上で制度の今後について

議論したいと述べた。

・尾形日本財団理事長と

王立基衛生部国際合作司副司長との協議

開催日：2012年2月13日(月) 11:30～12:20

場 所：衛生部会議室

出席者：

衛生部・衛生部国際交流センター

王 立基 国際合作司副司長
田 民 衛生部国際交流センター副主任
馮 勇 国際合作司亜非处处长
張 雲 国際合作司亜非処項目官員
周 簡 国際交流センター外聯一部部長
戴 維 衛生部国際交流センター外聯一部通訳

日本財団・日中医学協会

尾形武寿 理事長
佐藤英夫 常務理事
原田貴美子 公益・ボランティア支援グループ
福祉チームチームリーダー

及川春奈 公益・ボランティア支援グループ
福祉チームリーダー

福田英夫 広報グループグループ長

于 展 笹川平和財団室長

比留間聡 事務局長

概 要：王副司長は、奨学金制度を継続させ、引き続き日本に派遣したい、同学会の役割をもっと拡大したいと述べ、新たに次期奨学金制度に関する草案を提案した。
尾形理事長は、本奨学金制度に対する考え方に変化はないが、今回衛生部から提案のあった草案については、持ち帰り検討し回答したいと述べた。

・尾形日本財団理事長と

王立基衛生部国際合作司副司長との協議

開催日：2012年3月31日(土) 17:30～20:00

場 所：北京麗晶酒店

出席者：

衛生部・衛生部国際交流センター

王 立基 国際合作司副司長
馮 勇 国際合作司亜非处处长
張 雲 国際合作司亜非処項目官員

戴 維 衛生部国際交流センター外聯一部通訳

日本財団

尾形武寿 理事長
佐藤英夫 常務理事
原田貴美子 公益・ボランティア支援グループ
福祉チームチームリーダー
菅みずき 総務グループ秘書チームリーダー

日中医学協会

比留間聡 事務局長

概 要：尾形理事長は、日本財団の考え方に変化はないが、今後も協議していく用意があると述べた。王副司長は、人材養成を継続していきたいという気持ちは一致しているが、費用面で考え方が違っている。継続して協議していきたいと述べた。王副司長は、日本財団の同学会への支援強化を高く評価した。

6. 笹川医学奨学金進修生同学会(同窓会)に

対する協力

(1)学術交流会の開催

開催日：2011年12月10日(土) 08:30～17:00

場 所：三亜万嘉戴斯度假酒店会議大庁
(海南省三亜市)

テーマ：外科

概 要：学術交流会には102名が出席し、日本からも特別講演演者を含む27名が出席した。特別講演の後、8名の研究者が研究成果を発表、討論も活発に行われ、充実した学術交流会となった。

特別講演：

趙 群 同学会理事長、中国医科大学学長

『Chinese medical education situation and reform in the future』

武藤徹一郎 がん研究会明病院メディカルディレクター

『日本のがん医療』

同学会会員報告

金 政錫 黒竜江省医院普通外科教授(5期生)

『膵臓癌の浸潤特徴と臨床治療対策』

殷 猛 上海交通大学医学院附属上海儿童医学中心
心胸外科副主任医师(27期生)

『The influence of different pre-freezing rate on porosity ratio and mechanical property of pig aorta』

張 偉 中国人民解放军第二軍医大学附属長征医院
微创外科副主任医师(30期生)

『Should conversion to open thyroidectomy be the only choice for patients underwent endoscopic surgery but diagnosed with papillary thyroid carcinoma intra-operatively?』

趙 衛国 上海交通大学附属瑞金医院神经外科教授(12期生)

『Tactics of MVD surgery for hemifacial spasm and trigeminal neuralgia: -Personal experience of 2500 cases』

冉 玉平 四川大学華西医院皮膚性病科教授(4期生)

『Management of Invasive Fungal Infection: Surgical resection or Antifungal Therapy?』

劉 建華 浙江大学医学院附属第一医院
口腔医療中心主任醫師(6期生)

『Individual surgical design in repairing variable lip defects』

錢 俊 浙江省腫瘤医院大腸外科副主任医师(26期生)

『Clinical Characteristics Analysis of Colorectal Carcinoma during the past 48 years in Zhejiang』

熊 桜 中山大学腫瘤防治中心婦科副主任医师(27期生)

『Natural distribution and metastasis of pelvic lymph node of 231 stage IB-IIB cervical cancer patients treated with systematic pelvic lymphadenectomy and radical hysterectomy』

蔣 小華 東南大学附属中大医院普外科副主任医师(32期生)

『Prognostic importance of the inflammation- and nutrition-based Glasgow prognostic score in patients with operable gastric cancer』

優秀発表者授与式：

参加者全員で発表内容が特に素晴らしいと思う研究者を選び、表彰した。

冉 玉平 四川大学華西医院皮膚性病科教授(4期生)

趙 衛国 上海交通大学附属瑞金医院
神经外科教授(12期生)

(2)ボランティア診療の実施

実施日：2011年7月16日(土)

場 所：黒竜江省肇東市昌五鎮中心衛生院

概 要：王喜軍黒竜江中医薬大学副校長を中心にハルピン市在住の5名のOBを中心に実施した。なお、同団には橋本敬太郎日中笹川医学奨学金運営委員会委員長、比留間聡事務局長が参加した。

(3)同学会活動の活性化

・趙群同学会理事長と会談

開催日：2011年11月25日(金) 20:00~22:00

場 所：京王プラザホテル

出席者：

同学会(中国医科大学)

趙 群 理事長・校長

潘 伯臣 中国医科大学国際交流处处長

劉 佳 中国医科大学国際交流処(通訳)

日中医学協会

安達 勇 理事長

橋本敬太郎 常任理事

協会事務局2名

笹川記念保健協力財団

松本事務局長、楨室長

概 要：次期奨学金制度における同学会活動について意見交換した。

・佐藤日本財団常務理事との会談

開催日：2012年2月10日(金) 15:30~16:30

場 所：日本財団会議室

出席者：

日本財団

佐藤英夫 常務理事

原田貴美子 チームリーダー

及川春奈 リーダー

日中医学協会

安達 勇 理事長

江藤一洋 常任理事

橋本敬太郎 常任理事

比留間聡 事務局長

概要：将来の同学会活動について協議した。

- ・佐藤日本財団常務理事と同学会役員との懇談

開催日：2012年2月12日(日) 16:00～18:00

場所：同学会事務所他

出席者：

同学会

李 忠金 秘書長
韓 晶岩 常務理事
馬 迎華 常務理事
陣 秀琴 中日友好病院国際医療部主管護師
戴 維 衛生部国際交流センター職員

日本財団

佐藤英夫 常務理事
原田貴美子 チームリーダー
及川春奈 リーダー

日中医学協会

比留間聡 事務局長

概要：同学会理事から現在同会が行っている活動状況について紹介を受け、今後の活動内容の活性化について意見交換を行った。

- ・同学会理事との懇談

開催日：2012年3月3日(日)

場所：同学会事務所

出席者：

同学会

李 忠金 秘書長
韓 晶岩 常務理事

日中医学協会

橋本敬太郎 日中笹川医学奨学金運営委員会委員長
田平 武 日中笹川医学奨学金運営委員会副委員長
星合 昊 日中笹川医学奨学金運営委員会委員
末原珠生 担当職員
林 興莉 担当職員

概要：同学会が提出した2013年度以降の同学会事業案について意見交換を行った。

(4)東日本大震災被災者への義援金募集活動

同学会は、地震発生直後から中国在住のOBに義援金を呼びかけ、合計50万元(600万円)を超え

る義援金を集め、日本財団に送金した。

第1回目 363,289.02元(≒4,671,900円)

第2回目 144,337.80元(≒1,791,232円)

(5)その他

- ・監査の実施

実施日：2011年7月12日(火)

場所：同学会事務所(北京市)

実施者：比留間聡 事務局長
上野恵子 経理担当職員

概要：同学会が2010年度に実施した事業に対する監査を実施し、事業の実施方法について意見交換した。併せて経理処理の具体的事項について指導及び12月開催予定の学術交流会開催場所について意見交換した。

7. 日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会に

対する協力

(1)東日本大震災被災者への義援金募集活動

日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会は、同会会員に義援金を呼びかけ、合計265,000円を送金した。

(2)東日本大震災被災地でのボランティア活動

同会会員で鍼灸師・漢方医の資格を持つ何仲濤氏が4月10日に在日笹川生を代表し、福島県の被災地で現地在住の教え子と共にボランティア診療を行った。

(3)笹連会本部・支部合同座談会、忘年会

開催日：2012年12月3日(土)

場所：池袋「紫光閣」

概要：役員、関係機関役職員等24名が出席し、李亜範氏の司会で、笹連会の今後の活動について協議した。引き続き、忘年会を開催した。

(4)東京本部活動

- ・お花見会

開催日：2011年4月9日(土)

場 所：鎌倉市

概 要：鎌倉市内を参観後、橋本日中笹川医学奨
学金運営委員会委員長で懇談した。

・春節パーティー

開催日：2012年1月22日(日)

場 所：池袋「紫光閣」

概 要：役員5名、第34期研究者7名、協会事務
局等関係団体から4名の16名が出席した。

・医療・研究機関参観

開催日：2012年2月22日(水)

参加者：12名

概 要：第34期研究者とともに静岡県立静岡がん
センター及び笹川生O Bが勤務する(株)ホ
ゾリサーチセンターを参観した。

第34期研究者との座談会開催

開催日：2011年10月29日(土)

(5)地方支部活動

・お花見会(関西支部)

開催日：2011年4月9日(土)

場 所：大阪城公園

概 要：西日本新華僑華人連合会と合同で実施し
た。関西支部からは3名が出席した。

・年末年始日本国内旅行(関西支部)

開催日：2011年12月29日(水)～2012年1月2日(日)

場 所：兵庫県、岡山県、広島県、山口県、福岡
県、長崎県

概 要：笹連会役員1名、第34期研究者7名が参
加した。

・忘年会(北海道支部)

開催日：2012年2月28日(火)

場 所：京王プラザホテル札幌

概 要：笹連会役員、第34期研究者ら9名が出席
した。

(6)その他の活動

・第33期研究者研究報告会・研究修了式に出席

開催日：2011年8月25日(水)

・第34期研究者歓迎式典・歓迎レセプション出席

開催日：2011年9月7日(水)

・第24回箱根セミナー出席、

B. 共同研究等助成事業

1996年度以降、本事業は日本財団の助成金を受けて実施。2011年度は98件の応募申請の中から、共同研究等助成事業委員会の選考により4区分26件に助成した。

1. 2011年度助成金受給者

(1) 調査共同研究助成

① 疾患関連蛋白質の高次構造に基づく機能阻害剤探索

申請者：鈴木 亨 東京大学医科学研究所助教
共同研究者：馬克・巴特拉姆 南開大学
生命科学学院教授

② Oridoninによる膀胱がん細胞死誘導とその制御機構の研究：新規依存性受容体UNC5Dの役割の検討

申請者：李 元元 千葉県がんセンター
研究局研究員
共同研究者：朱 育 中国医科大学第一附属病院
泌尿器科学研究所副教授

③ 食品中有機塩素農薬、ダイオキシン類、重金属曝露の疫学調査

申請者：香山不二雄 自治医科大学
環境毒性学部門教授
共同研究者：孫 素菊 河北医科大学公衆衛生学院教授

④ TRPA1受容体を標的とする天然薬物成分の探索およびその鎮痛メカニズムの解析

申請者：戴 毅 兵庫医療大学薬学部准教授
共同研究者：張 文生 北京師範大学資源学院
資源薬物与中薬資源研究所
教授・副所長

⑤ 癌幹細胞を標的とした肝癌の重粒子線治療の基礎的研究

申請者：崔 星 放射線医学総合研究所
重粒子医学センター粒子線
生物研究グループ主任研究員

共同研究者：邵 春林 復旦大学放射線医学研究所教授

⑥ 筋萎縮性側索硬化症の発症分子メカニズムに関する研究

申請者：秦野伸二 東海大学医学部基礎医学系
分子生命科学教授
共同研究者：商 慧芳 四川大学華西医院
神経内科副教授

⑦ ジスルフィド異性化酵素ER p 57の血小板活性化、

血栓形成に於ける役割

申請者：尾崎由基男 山梨大学医学部
臨床検査医学教授

共同研究者：武 芸 蘇州大学
唐仲英血液学研究中心教授

⑧ 薬物依存症の治療薬としてのミノサイクリンの効果と作用メカニズムに関する研究

申請者：橋本謙二 千葉大学社会精神保健教育
研究センター副センター長

共同研究者：陸 林 北京大学
国立薬物依存研究所所長・教授

⑨ 尿路結石の一塩基多型を用いた遺伝子診断方法の開発と人種差の検討

申請者：安井孝周 名古屋市立大学大学院
医学研究科講師

共同研究者：高 兵 瀋陽医学院細胞生物与遺伝学
研究室主任教授

⑩ 小型肺癌に対する根治術としての縮小手術の評価～日中間における小型肺癌に対する縮小手術の標準化に向けての検証

申請者：浅村尚生 国立がん研究センター中央病院
呼吸器腫瘍科呼吸器外科科長

共同研究者：方 文涛 上海胸科医院胸外科主任医師

⑪ 科学的根拠に基づく肝癌診療ガイドラインの中国での構築に向けた先行的基盤研究

申請者：宋 培培 東京大学医学部
肝胆膵外科学客員研究員

共同研究者：董 家鴻 中国人民解放軍総医院
肝胆膵外科主任教授

⑫ チャ(Camellia sinensis)花部の生体機能成分の解明と定量分析

申請者：吉川雅之 京都薬科大学薬学分野教授

共同研究者：王 涛 天津中医薬大学
中医薬研究院主任教授

⑬ OPG遺伝子導入へのセメント芽細胞の反応様式と歯根吸収抑制の関係

申請者：菅崎弘幸 東北大学病院矯正歯科助教

共同研究者：林 久祥 北京大学口腔医学院
口腔矯正科教授

⑭ 日本と中国を精通する医療ソーシャルワーカー(MSW)の人材育成に関する研究

申請者：沈 潔 日本女子大学人間社会学部
社会福祉学科教授

共同研究者：張 秀蘭 北京師範大学

指導者：春日昇平 教授

(2)中国人研究者・医療技術者招聘助成

①中国吉林省のHIV浸淫地域における真菌の薬剤耐
心性と疫学研究

招 聘 者：河野 茂 長崎大学医歯薬学総合研究科教授
被招聘者：賈 冬梅 北華大学附属病院准教授

⑦要介護高齢者と要介護者を介護している高齢者の
精神健康と生活満足度に影響する要因の研究—中
国と日本の比較より

受給者：裴 麗瑩 筑波大学大学院
人間総合科学研究科研究生
指導者：奥野純子 講師

(3)在留中国人研究者研究助成

2011年度受給者の王婉婷氏(東北大学)が東日本大
震災の影響で受給年度中に帰国することが決まり辞
退したため、委員会選考基準に抛り補欠第1位の高
靖氏(九州大学)が繰り上げ合格となった。

①抗ヒスタミン薬含有OTC薬服用後における脳内ヒ
スタミンH1受容体占拠率の時間推移：健常者にお
ける陽電子断層撮影法(PET)測定

受給者：張 冬穎 東北大学大学院医学系研究科
機能薬理学分野博士課程

指導者：谷内一彦 教授

②心房筋特異的遺伝子欠損法の開発と応用

受給者：焦 其彬 早稲田大学先進理工学部
生命医科学科外国人研究員

指導者：南沢 享 教授

③新規分子PRIPの開口分泌における役割の解明

受給者：高 靖 九州大学大学院助教
指導者：平田雅人 教授

④頭頸部癌発症におけるHPV感染の役割及びSCCAと
頭頸部癌予後に関する研究

受給者：鄧 澤義 琉球大学大学院医学研究科
耳鼻咽喉頭頸部外科分野博士

指導者：鈴木幹男 教授

⑤開放隅角緑内障、正常眼圧緑内障、発達緑内障の
分子遺伝学的解析

受給者：石 棟 東北大学医学系研究科
眼科学分野大学院生

指導者：布施昇男 准教授

⑥ビスフォスフォネート(BP)局所投与による、骨粗
鬆モデルラット脛骨骨髓内に埋入した薄膜ハイド
ロキシアパタイト(HA)コーティングインプラント
骨性結合への効果

受給者：郝 佳 東京医科歯科大学インプラント

(4)トラベルグラント

①東アジア神経学フォーラム

申請者：祖父江元 名古屋大学大学院医学系研究科
神経内科学研究科長・教授

②アジア環境サーベイランスワークショップ

申請者：帖佐 徹 聖マリア病院聖母の家施設長

③2011年世界睡眠学会

申請者：土井由利子 国立保健医療科学院
研修企画部部长

④日本中医学会第1回学術総会

申請者：浅川 要 東京医療福祉専門学校教員養成科講師

2. 委員会の開催

(1)臨時助成事業委員会

日 時：2011年5月13日(金) 12:00~12:30

場 所：日中医学協会事務所

出席者：武藤委員長、大柳・篠崎両担当常任理事
事務局2名

議 題：2012年度の募集に関して協議を行った。

(2)第1回共同研究等助成事業委員会

日 時：2011年7月1日(金) 12:00~12:30

場 所：日本財団会議室

出席者：委員長含む3名(委任状出席10名)
担当常任理事1名、事務局2名

概 要：2012年度助成制度の見直しを行い、助成
項目、募集要項を変更した。新しい助成
事業に関する打合せを行った。

(3)第2回共同研究等助成事業委員会

日 時：2012年3月1日(木) 17:30~19:30

場 所：学士会館 303号室

50～100万円/件・若干名(33件)

出席者：委員長含む7名(委任状出席8名)

②トラベルグラント

担当常任理事2名、事務局3名

最高10万円/1名・最高30万円/1会議(4件)

概 要：2011年度助成事業中間報告、2012年度共同研究等助成事業選考、2011年度若手在留中国人研究者助成選考について

(2)募集期間

2011年12月1日(木)～2012年1月14日(土)

(3)募集媒体

機関誌「日中医学」、「NEWS LETTER」、ホームページ、関係学会ホームページ、医歯薬看護系大学・図書館へのポスター、チラシの配布

3. 日本財団助成15周年記念

共同研究等助成事業報告会の開催

日 時 2011年7月1日(金) 16:00～17:30

場 所 日本財団会議室

出席者 武藤徹一郎、跡見 裕、五十嵐正広、御子柴克彦、杉山 清、大柳治正、安達 勇、長谷川恒雄、杉本恒明、林 謙治、森岡恭彦、児玉 孝、近藤達也、橋本敬太郎、石館光三、金井 浄、花岡一雄

概 要 日本財団からの助成15周年を記念し、過去の受給者の中から優れた共同研究の成果を上げた2名と、2010年度の在留中国人助成受給者1名が報告した。

報告者

- ①見藤隆子 元日本看護協会会長
「看護領域における日中共同研究の歴史と意義」
- ②奥山 徹 元明治薬科大学天然薬物学教授
「薬学領域における日中共同研究の歴史と意義」
- ③王 喆 金沢大学大学院医学系研究科分子遺伝学
「薬剤耐性ウイルス出現における自然免疫効果分子APOBECの役割」

5. 2011年度若手在留中国人研究者助成事業

中国の医療の向上に貢献する意思と能力を持ち、わが国の研究機関に在籍して研究指導を受けている若手中国人研究者に対する研究費助成。

(1)概要 (「()」内は応募件数)

助成金額 40万円/1件

助成件数 2件 (21件)

(2)受給者

①細胞間コミュニケーションをターゲットとしたアレルギー性気道炎症の新規治療法の開発

受給者：遅 源 山梨大学
医学工学総合研究部大学院生

指導者：姚 建 准教授

②C型肝炎ウイルス陽性患者の肝発がん抑止・治療を目的としたMICA発現機構の解明と薬剤スクリーニング

受給者：李 雯雯 東京大学大学院医学系研究科
疾患制御ゲノム医学UNIT大学院生

指導者：加藤直也 特任准教授

4. 2012年度助成金受給者募集

2012年度は助成事業の中身を見直し、従来の4項目から「調査・共同研究」、「トラベルグラント」の2項目に助成項目を絞って実施した。

(1)募集区分・件数 (「()」内は応募件数)

①調査・共同研究助成

C. 清華大学玉泉病院てんかんセンター派遣医師受け入れ事業

清華大学玉泉病院(清華大学第二附属病院)と協会は、同院てんかんセンター研究者の人材育成、両国の医学・医療分野の交流の促進及び両国国民の健康と福祉の向上、相互理解を深めることを目的とする「研究者育成プロジェクト」を設立し、2009年から2012年の3年間に毎年2名を3か月間招請する計画で実施している。2011年度は本プロジェクトの最終年であった。計画に基づき2名を3か月間ずつ受け入れる予定であったが、2011年度は清華大学玉泉病院の都合により、派遣が無くそのまま事業は終了した。

D. 松和会との中国人医学研究者育成プロジェクトについて

医療法人社団松和会と協会は、日中両国の医学・医療分野における交流の促進と、両国民の健康と福祉を向上させることを目的に、中国人医学研究者育成プロジェクトを設立し、中国からの研究者を招請した。

氏名：李 鋒 山東省棗荘市立医院腎臓内科主治医師
研究先：帝京大学医学部内科学

内田俊也 教授

来日：2012年3月27日、以後1年間滞在する。

II. 学術会議開催

A. 主催事業

1. 日中医学交流会議

テーマ：「日中両国における高齢化社会と医療
—認知症の早期発見と介入—」

日時：2011年11月19日(土) 13:00～17:15

会場：日本医師会館 小講堂

主催：日中医学協会、日本医師会

後援：厚生労働省、日本神経学会、日本認知症学会、日本看護協会、中華人民共和国駐日本国大使館、中華医学会、中華医学会神経病学分会、中日医学科技交流協会

参加者：シンポジウム100名、懇親会40名

オーガナイザー：

田平 武 日中医学協会評議員・順天堂大学教授

司会：橋本敬太郎 日中医学協会常任理事

座長：葉梨之紀 日本医師会常任理事

安達 勇 日中医学協会理事長

田平 武 日中医学協会評議員

プログラム

挨拶 森岡恭彦 日中医学協会副会長

原中勝征 日本医師会会長

李 纓 中国大使館科学技術処参事官

講演 I

「日本における認知症の早期発見と予防・治療介入の現状」

朝田 隆 筑波大学大学院人間総合科学研究科
精神病態医学教授

講演 II

「中国の農村・都市人口のMCIと認知症罹患率の研究」

賈 建平 北京首都医科大学附属宣武医院教授

講演 III

「中国人高齢者における認知機能障害と認知症の危険因子—重慶での加齢・認知症研究」

周 華東 第3軍医大学大坪医院教授

講演 IV

「アルツハイマー病の治療：現状と将来の展望」

田平 武 順天堂大学大学院
認知症診断・予防・治療学教授

パネルディスカッション

懇親会(会場：談話室)

B. 共催・後援事業

1. 2011年度医学生のための漢方医学セミナー

開催日：2011年8月2日(火)～7日(日)

開催地：琵琶湖グランドホテル(滋賀県大津市)

主催：小太郎漢方製薬株式会社

後援：日中医学協会、日本TCM研究所、天津中
医薬大学

参加者：医学部学生28名(19大学)、聴講医師6名

Ⅲ. 日中医療保健協力

1. 中国医療機関への専門家派遣事業

中国に専門家を派遣し、レベルの向上、医学交流の促進を目的とした事業。2011年度は、2名の専門家を派遣した。

(1) The Consultation Meeting on Multisectoral Cooperation for Non-communicable Diseases Prevention and Control in East Asia (中国衛生部主催)への専門家派遣

・牛尾恭輔 九州がんセンター名誉院長

期間：2011年11月29日(火)～30日(水)

(2) 中日友好病院への専門家派遣

・光嶋 勲 東京大学大学院医学系研究科
形成外科・美容外科教授

期間：2011年12月14日(水)～17日(土)

テーマ：リンパ浮腫の手術指導

2. 医療関連訪日団に対する協力

日中両国の医療関係者の交流を促進するため、2011年度は、8件の訪日団の招聘や病院視察等の手配を行った。

(1) 中国薬剤管理訪日団

期間：2011年8月1日(月)～6日(土)

団構成：張 保華 平谷区中医院副院長他24名

訪問先：杏林大学医学部付属病院

備考：8月2日にセミナーを開催し、齋藤英昭副院長が講演した。

(2) 第4回東アジアリウマチ学会

期間：2011年10月13日(木)～16日(日)

団員数：11名

開催地：京王プラザホテル

(3) 日本臨床麻酔学会

期間：2011年11月3日(木)～11月6日(日)

団構成：姚 力 中日友好病院

(4)医療機器視察団

期 間：2011年11月6日(日)～11月12日(土)
団構成：張 洪清 天津医科大学設備処副処長他8名
訪問先：関西医療機器メーカー、病院を視察

(5)医療機器視察団

期 間：2011年12月2日(金)～12月6日(火)
団構成：游 自東 浙江大学医学院
附属第二医院副院長他1名
訪問先：都内病院見学、関西医療機器メーカーを
視察

(6)2012国際医用画像総合展視察団

期 間：2012年4月9日(月)～4月15日(日)
団構成：李 坤成 首都医科大学
宣武医院放射科主任他6名

(7)第71回日本医学放射線学会総会視察団

期 間：2011年4月11日(水)～4月17日(火)
団構成：李 世傑 北京市大興区人民医院副院長他2名

(8)産婦人科訪日団

期 間：2011年3月21日(月)～25日(金)
団構成：張 震宇 首都医科大学
附属北京朝陽医院主任医師他20名
備 考：山王病院で「婦人科感染症」に関するセ
ミナーを行い、病院参観を行った。

講演者① 川名 敬 東京大学産婦人科講師
「Topics of infectious diseases in Gynecology in
Japan ～ Antibiotics and Vaccine ～」

講演者② 謝 康雲 上海復旦大学
附属婦産科医院主任医師
「VVC治療の進展」

3. 日中乳幼児栄養専門家交流の実施

(1)復旦大学児童病院セミナー

開催日 2011年5月6日(金)
開催地 上海復旦大学児童病院
概 略 和光堂(株)に協力し、小児下痢に関して日

本の経口補水療法や、日本乳幼児栄養の
ガイドライン、日本での小児栄養(ミルク・離乳食)について紹介した。協会から太田晶子職員が出席した。

(2)日中児童下痢症診断セミナー

開催日 2011年7月8日(金)
開催地 南新雅大酒店
概 略 和光堂(株)に協力し、小児下痢に対する日
本の経口補水療法を紹介し、中国で制定
された小児下痢への経口補水ガイドライ
ンについて理解し、中国の専門家と交流
を行った。本セミナーには49名の中国側
関係者が出席した。協会から太田晶子職
員が同行した。

派遣専門家 金子一成 関西医科大学小児科学教授
プログラム

講演① 金子一成 関西医科大学小児科教授
「児童の下痢に対する経口補液療法につい
て」
講演② 黄 瑛 上海復旦大学附属児科医院教授
「児童の急性下痢の治療ガイドライン」
質疑応答

4. 伝統医学交流訪中団・会員訪中団の派遣

協会は協会主催の訪中団を組織し、実施した。

(1)第3回伝統医学視察団

目 的：中国の伝統医学に関する知識と技術を学
び、日本の中医学の向上と相互理解を深
める。

テーマ：ストレスとうつに対する中医治療

期 間：2011年8月3日(水)～7日(日)

団構成：酒谷薫常任理事ら全20名

参観先：瀋陽薬科大学、遼寧中医薬大学、長春中
医薬大学、長春中医薬大学附属病院

備 考：セミナーを瀋陽薬科大学、遼寧中医薬大
学、長春中医薬大学において開催した。

セミナープログラム

◆瀋陽薬科大学

講演者① 宋 少江 中薬学院副院長
通訳 夏 明鈺 中日医薬研究所副教授

「ストレスの治療について mental stress」

講演者② 池島 喬 中日医薬研究所所長
「組織老化における細胞の変革戦略について
—アポトーシス、オートファジーと(多分)壊死」

講演者③ 酒谷 薫 日本大学医学部教授
「ストレスと脳」

◆遼寧中医薬大学

講演者① 韓 晶岩 遼寧中医薬大学教授
「ストレスについて」

講演者② 張 艶 遼寧中医薬大学教授
「抑鬱焦虚症(うつ病)に対する中西医結合弁証治療」

講演者③ 黎 凱 遼寧中医薬大学教授
「ストレスと神経症に対する中薬と鍼灸治療」

◆長春中医薬大学

講演者① 宋 柏林 長春中医薬大学副校長
「中医薬の現状と発展の方向」

講演者② 張 穎新 長春中医薬大学附属病院教授
「うつに対する鍼灸治療について」

講演者③ 王 健 長春中医薬大学附属病院教授
「肝気鬱血に対する抗うつ舒神顆粒の治療効果研究」

5. 金原記念日中医学交流基金への協力

1985年から公益信託として設立された本基金に対して、協会は募集等の面で協力していたが、今年度より受託者のみずほ信託銀行と協定を結び、募集以外にも委員会の運営に協力した。

なお、本基金は2011年度をもって終了した。協会は、「金原記念日中医学交流基金記念誌」の作成にも協力した。

6. 日中国際共同研究プロジェクト

(株)資生堂と、「高齢者の健康—認知症の予防と治療」をテーマに清華大学において共同研究を行った。

(2)第3回中国医療事情視察団

目的：中国の医療事情への理解を深めるとともに、同学会学術交流会への出席。

期間：2011年12月8日(木)～12月13日(火)

参加者：安達勇理事長ら全27名

参観先：海南省海口市

・海南省人民医院(三級病院)

広東省広州市

・広州医学院第一附属医院(三級医院)

広東省仙仏市

・広東省人民医院平洲分院(三級病院)

IV. 広報事業

1. 機関誌「日中医学」の発行

機関誌「日中医学」第26巻1～4号を以下の通り発行した。

第1号(2011年12月)

特集「中国における病院の検査」

第2号(2012年2月)

特集「中国における母子保健」

第3号(2012年3月)

特集「2011年日中医学交流会議」

第4号(2012年4月)

特集「がんの緩和ケア」

2. 「NEWS LETTER」の発行

協会の活動を幅広く、わかりやすく紹介するため機関紙「NEWS LETTER」を発行している。今年度は、No.24～No.26を発行した。

No.24(2011年5月発行)

記事「経済産業省による日中医療交流の発展にむけて」他

No.25(2011年9月発行)

記事「日中医療交流協議会について」他

No.26(2011年12月発行)

記事「2011日中医学交流会議を開催して」他

3. ホームページの拡充

協会事業に関するお知らせ掲載等の広報を充実した。

<http://www.jpenna.or.jp>

4. 「International Chinese Journal of Dentistry」

への協力

季刊誌「International Chinese Journal of Dentistry」のSponsoring Organizationとして協力した。

5. 委員会の開催

a. 第1回広報委員会

日時：2011年6月15日(水) 18:00～19:00

場所：協会事務所

出席者：委員長他委員4名、委任状出席3名

議題：

- ・「日中医学」、「NEWS LETTER」発行及び広告掲載報告
- ・「日中医学」新連載記事のテーマ、特集記事担当者
- ・「NEWS LETTER」No.25の掲載記事について

b. 第2回広報委員会

日時：2011年11月1日(火) 18:00～20:00

場所：日中医学協会事務所

出席者：委員長他委員3名、委任状出席4名

議題：

- ・「日中医学」27巻の特集テーマ、連載記事
- ・「日中医学」の編集業務の外部委託について
- ・「NEWS LETTER」No.26の発行について

c. 第3回広報委員会

日時：2012年3月6日(火) 18:00～20:00

場所：協会事務所

出席者：委員長他委員6名、担当常任理事1名
委任状出席2名

議題：

- ・次期委員長、委員の委嘱等について
- ・「日中医学」27巻の掲載記事、表紙、広告掲載について
- ・「日中医学」投稿原稿について

V. 経済産業省受託事業

ついて

1. 経済産業省受託事業平成22年度医療サービス 国際化推進事業(中国関連調査等)

(1)日中の医療交流プラットフォームの形成

A. 日中の医療交流プラットフォームの形成に関する 委員会の開催

「日中医療交流協議会」のあり方に関する検討委員会を計3回開催した。

委員：

- 麻田ヒデミ 社会医療法人財団エム・アイ・ユー
麻田総合病院理事長
- 安達 勇^{*} 静岡県立静岡がんセンター緩和医療科参与
- 飯塚陽子 東京大学医学部附属病院
糖尿病・代謝内科助教
- 江藤一洋^{*} 日本歯科医学会会長
- 長村義之 国際医療福祉大学病理診断センター長
- 小松研一 東芝メディカルシステムズ株式会社相談役
- 勝呂 徹 東邦大学医学部整形外科学主任教授
- 田邊 弘 株式会社ビー・エム・エル常務取締役執行役員
- 平岡真寛^{*} 京都大学大学院医学研究科
放射線腫瘍学画像応用治療学教授
- 松村啓史 テルモ株式会社取締役副社長
- 森田晴夫 株式会社モリタ代表取締役社長
- 森山紀之 国立がん研究センター
がん予防・検診研究センター長
- 和田 勝 国際医療福祉大学大学院
福祉社会総合研究所教授

「※」は日中医学協会役員

オブザーバー：

藤本康二 経済産業省ヘルスケア産業課課長

顧問：

下條 忍^{*} 元国際医療研究センター医長

・第1回日中医療交流協議会の在り方設立に関する 検討委員会

開催日：2011年6月23日(木) 17:00～19:00

場 所：J Aビルカンファレンス302号室

議 題：①日中医療交流協議会に関する趣旨説明
②2011年実施事業および今後の方向性に

・第2回日中医療交流協議会の在り方設立に関する 検討委員会

開催日：2011年10月31日(月) 17:00～18:30

場 所：J Aビルカンファレンス302号室

議 題：①11月23日北京行事について
②日中医療交流協議会の事業内容(案)に
ついて

・第3回日中医療交流協議会の在り方設立に関する 検討委員会

開催日：2012年2月7日(火) 17:00～19:00

場 所：J Aビルカンファレンス

議 題：①11月23日の記念行事の報告
②日中医療交流協議会のあり方について

B. 中国での日中医療交流事業の実施

日中医療交流協議会記念行事を開催した。

主 催 財団法人日中医学協会、
中日医学科技交流協会

後 援 在中国日本国大使館、日本医学放射線学
会、日本歯科医学会、中華医学会、中華
医学会放射線分会、中華口腔医学会

開催日 2011年11月23日(水) 14:00～18:00

開催地 北京ヒルトンホテル

テーマ 1. がん画像診断の未来
2. 歯科医療の未来

参加者 160名

講演会(日中逐次通訳)

シンポジウムA 「がん画像診断の未来」

座長 平岡真寛 京都大学医学部教授

郭 啓勇 中華医学会放射学会会長

講演

森山紀之 国立がん研究センター
がん予防・検診研究センター長

「日本におけるがん画像診断の現状と展
望」

郭 啓勇 中華医学会放射学会会長

「中国におけるがん画像診断の現状と展望」

パネルディカッション

シンポジウムB 「歯科医療の未来」

座長 江藤一洋 日本歯科医学会会長

姜 婷 中華口腔医学会副秘書長

講演

栗原英見 広島大学先端医療開発科学講座
歯周病態学教授

「新規歯周組織再生治療法の開発」

王 松靈 首都医科大学副学長

「歯の幹細胞による組織再生の研究」

パネルディカッション

交流懇親会

日時 2011年11月23日(水) 18:15～20:00

場所 北京ヒルトンホテル

C. 日中の医療交流プラットフォームの形成に関する海外調査

上記A・Bに関する現地調査ならびに現地における事前準備の訪中を計4回実施した。

・第1回事前訪中

期間：2011年6月9日(木)～12日(日)

- 概要：1) 在中国日本国大使館柴田一等書記官との面談
2) 中日友好医院国際交流合作処との打ち合わせ
3) 中日医学科技交流協会との打ち合わせ

・第2回事前訪中

期間：2011年7月12日(火)～15日(金)

- 概要：1) 北京雅達翻訳有限公司李忠金氏との打ち合わせ
2) 北京21世紀医院参観
3) 中日友好医院参観
4) 清華大学玉泉病院院長との懇談
5) 在中国日本大使館訪問
6) JETRO北京事務所訪問
7) 中日医学科技交流協会との打ち合わせ

・第3回事前訪中

期間：2011年9月18日(日)～25日(日)

- 概要：1) 王松靈首都医科大学副学長との面談
2) 中日医学科技交流協会打ち合わせ
3) 東芝医療系統(中国)有限公司渡辺副總裁との面談
4) 北京ヒルトンホテル下見
5) 中国衛生部国際合作司との面談
6) 南京在住笹川生との懇談
7) 中華口腔医学会全国大会への参加

・第4回訪中

期間：2011年11月22日(火)～24日(木)

- 概要：1) 首都医科大学附属北京口腔医院参観
2) 北京大学腫瘍医院参観
3) 北京大学第一医院参観
4) 日中医療交流協議会シンポジウム・交流懇親会の開催

(2)日中歯科医療技術交流

A. 首都医科大学附属北京口腔医院研修センター設立に関する海外調査

本件調査は上記4回の事前訪中時に同時に行われた。

B. 日中歯科医療交流の推進事業

2011年6月9日～6月12日、北京において開催されたシノデンタル(Sino Dental、世界各国から出展される歯科器械、材料の大展示会)における事業

a. 学術講演会・交流会の開催

名称：“Japan Seminar”

(日本先進歯科臨床講座)

日程：2011年6月11日(土)

場所：中国国家コンベンションセンターCNCC

講演：

①田上順次 東京医科歯科大学・大学院教授

テーマ：

「Inovation in single visit tooth reconstruction “Self reinforcing one-step adhesive and auto-polished composite resin”」

出席者：280名

②山田和伸 カナレテクニカルセンター所長

テーマ：

「CAD/CAMジルコニアオーラルセラミックの審美修復—材料特性を考慮した審美修復」

出席者：180名

③洪 昭民 東京歯科大学歯学博士
台北大学牙医系臨床教授、高雄大学歯系兼職教授

テーマ：

「The Clinical Application of Magnetic Attachment for Implant Removable Prosthodontics」

出席者：190名

④柏田聡明 日本接着歯学会前副会長、
東京医科歯科大学臨床教授

テーマ：

「ジルコニアを用いた補綴修復治療—審美と歯の長期保存を達成するための要件」

出席者：200名

b. 日本パビリオンの広報活動強化

広報活動強化として日本歯科商工会のブースを2小間に増加して同商工会および日本の歯科器械・材料事情について展示広報を行い、また日本パビリオンが遠方からも確認できるよう天井に吊り看板を設置して、来場者の増加を図った。またジャパンデー、ジャパンナイトの開催パンフレットや日本パビリオン案内図入りうちわを配布するとともに、日本製品に関するアンケート調査も行った。

c. 歯科医療関連企業の新規参加の促進

シノデンタル視察訪中団の参加募集を行い、歯科関連企業8社の代表が新規参加した。企業

名は以下の通り。

- 1) 株式会社ナルコム製作所 猪俣吾郎
- 2) 株式会社シオダ 塩田慎吾
- 3) ハイデンタルジャパン(株) 東田 勝
- 4) 大成歯科工業(株) 六反和紀
- 5) キング工業(株) 野尻秀幸
- 6) デンツプライ三金(株) 村上一広
- 7) 株式会社日本歯科商社 柳井義勝
- 8) 小山歯科工業(株) 小山裕一

(3)中国における日本の医療サービス認知度向上業務

A. 日本の医療機関に関わるカタログ(改訂版)の配布

「Medical Excellence JAPAN」の事業内容及び参加医療機関を紹介するカタログを同学会メンバーを中心に日本との関わりの深い医療関係者および異医療機関図書館などに配布し(510部)、日本の医療サービス優位性を広く広報した。

B. カタログ(改訂版)に対する意見聴取およびアンケート調査

日中医療交流協議会シンポジウム終了時にアンケート調査を行った。

目的：記念行事に参加した中国人医療関係者にシンポジウムの感想を聞くとともに、日本との交流に望むことを聞く。

配布数：100枚(放射線、歯科各会場50枚ずつ)

実施方法：会場座席に配備し、シンポジウム終了後回収

回収率：49%

回答者49名の内、大多数が今後とも日本医療に触れる機会を希望(セミナー開催38名、研修35名、会議30名、視察27名)しているという結果が得られた。又、次回取り上げてほしいテーマとしてはより臨床的なテーマを望む声が多かった。

総務報告の部

I. 役員の選任について

A. 理事の選任

寄附行為第17条及び第19条に基づき、理事を選任。

1. 2011年8月31日臨時評議員会に於いて理事を選任。

・就任 1名

坂本すが 公益社団法人日本看護協会会長

2. 2012年3月23日第54回評議員会に於いて、任期満了に伴う理事の選任。

任期：2012年4月1日～2014年3月31日

・再任 28名

安達 勇、池谷田鶴子、今井一洋、牛尾恭輔、江藤一洋、大久保満男、大槻勝紀、大柳治正、小川秀興、加我君孝、木村政之、児玉 孝、近藤達也、酒谷 薫、坂本すが、篠崎英夫、庄田 隆、高久史麿、高倉公朋、橋本敬太郎、花岡一雄、原中勝征、日比紀文、平岡眞寛、丸野政雄、武藤徹一郎、森岡恭彦、横倉義武

・就任 4名

田平 武 順天堂大学大学院教授

林 謙治 国立保健医療科学院院長

星合 昊 大阪府済生会富田林病院院長

森山紀之 国立がんセンター
がん予防・検診研究センターセンター長

・退任 4名

荻原幸夫 名古屋市立大学名誉教授

久道 茂 財団法人宮城県対がん協会会長

平田 温 北秋田市民病院副院長

森 亘 東京大学名誉教授

B. 監事の選任

寄附行為第17条及び第19条に基づき、監事を選任。

1. 2012年3月23日第54回評議員会に於いて、任期満

了に伴う監事の選任。

任期：2012年4月1日～2014年3月31日

・再任 2名

金井 浄、杉本恒明、

C. 役員の選任について

2012年3月23日第54回理事会に於いて、寄附行為第17条及び第19条に基づき、会長・副会長・理事長を選任。

任期：2012年4月1日～2014年3月31日

就任：会 長 森岡恭彦 理事

副会長 高久史麿 理事

原中勝征 理事

理事長 安達 勇 理事

D. 常任理事の選任

2012年3月23日第54回理事会に於いて、寄附行為第17条及び第19条に基づき、常任理事を選任。

任期：2012年4月1日～2014年3月31日

就任：江藤一洋 日本歯科医学会会長

大柳治正 近畿大学弘徳学園
近大姫路大学副理事長

小川秀興 順天堂大学理事長

加我君孝 東京医療センター臨床研究センター
名誉センター長

酒谷 薫 日本大学医学部教授

篠崎英夫 国立保健医療科学院名誉院長

橋本敬太郎 横浜薬科大学教授

日比紀文 慶應義塾大学医学部教授

平岡眞寛 京都大学大学院医学研究科教授

E. 評議員の選出

寄附行為第34条及び第19条に基づき評議員を選出。

1. 2011年8月31日臨時理事会に於いて評議員を選出。

・就任 1名

中島信也 社団法人日本歯科医師会常務理事

2. 2012年3月23日第54回理事会に於いて、任期満了に伴う評議員を選出。

任期：2012年4月1日～2014年3月31日

・再任 86名

朝倉 均、阿部 裕、荒木孝二、池田 裕、石河 修、石館光三、市川和孝、稲葉 裕、猪熊茂子、今泉英明、井廻道夫、大田洋二郎、緒方 剛、小川 彰、小川 忍、尾崎由基男、影井 昇、笠原正貴、加藤久豊、加藤抱一、金原秀雄、河野信博、韓 晶岩、北 潔、北中 進、北村唯一、木村光孝、栗原英見、黒川 顕、黒崎紀正、五島瑳智子、古谷野潔、齊藤大三、酒井シヅ、桜井芳明、佐々木一之、佐藤田鶴子、佐藤信紘、澤 宏紀、清水正嗣、下村克朗、正山征洋、住友雅人、住吉金次郎、諏訪文彦、田上順次、田口鐵男、武田隆男、田中雅夫、谷美智士、津田喬子、土山秀夫、常光謙輔、杜 子威、中島信也、名川弘一、鍋谷欣市、伯井俊明、花輪壽彦、早石 修、日暮 眞、福生吉裕、古川俊之、方 一如、前田隆秀、前田健康、町田幸雄、松井比呂美、松村英雄、丸山 茂、御子柴克彦、水野 昇、箕田健生、宮田 侑、村上恵一、室賀昭三、望月清志、山口 建、山田陽城、山中宣昭、山本昌弘、家森幸男、姚 建、吉倉 廣、李 天成、渡邊裕司

・就任 5名

一戸達也 東京歯科大学水道橋病院院長
高松 研 東邦大学教授
根本則道 日本大学主任教授
杉山 清 星薬科大学教授
高橋和久 順天堂大学主任教授

・退任 16名

伊賀立二 昭和薬科大学学長
石井正三 社団法人日本医師会常任理事
井出吉信 東京歯科大学学長
糸賀 敬 大分医科大学名誉教授
糸川秀治 ノースカロライナ大学客員教授
小田泰子 社団法人日本女医会前会長
小田島肅夫 金沢医科大学理事

加藤四郎 大阪大学名誉教授
黒田嘉和 岩内協会病院院長
済木育夫 富山大学和漢医薬学総合研究所所長・教授
清水 浩 日本医科大学国際交流センター顧問
鈴木邦彦 社団法人日本医師会常任理事
鈴木磨郎 東北大学名誉教授
田平 武 順天堂大学大学院教授
林 謙治 国立保健医療科学院院長
山口 巖 茨城県顧問・茨城県総合検診協会会長

II. 会員拡大と募金活動について

A. 会員数の推移

	11年3月 末現在	2011年度 入退会	12年3月 末現在
個人 会員	508名	入会46名 退会50名	504名
法人 会員	71社	入会 2社 退会 6社	67社
特別 会員	3社	入会 0社 退会 0社	3社

B. 募金活動

1. 年末寄付金・その他の寄付金

2011年度の年末寄付金及びその他頂戴した寄付金は以下の通り。

多くの法人・個人にご協力戴いた寄付金は、当協会が実施した助成事業、日中医学交流会議、広報事業等に充当した。

a. 団体・法人 14法人

日本医師会、(株)ツムラ、(株)メディカル東友、(株)グロービア、大鵬薬品工業(株)、(株)ミツヤ送風機製作所、日本メジフィジックス(株)、レキオファーマ(株)、近藤クリニック、武田薬品工業(株)、第一三共(株)、中外製薬(株)、ヤンセンファーマ(株)、他一社

b. 個人 45名

戴 昭宇、安達 勇、杉本恒明、田口鐵男、

五島瑳智子、篠崎英夫、吉倉 廣、森岡恭彦、
木村光孝、北村唯一、齊藤大三、陶 惠寧、
花岡一雄、下村克朗、緒方 剛、町田幸雄、
荻原幸夫、水野 昇、方 一如、山本昌弘、
橋本敬太郎、山中宣昭、土山秀夫、箕田健生、
諏訪文彦、渡邊裕司、池田 裕、今泉英明、
谷美智士、小川秀興、江藤一洋、森 亘、
佐藤信紘、猪熊茂子、池谷田鶴子、常光謙輔、
家森幸男、松村英雄、石館光三、大柳治正、
金原秀雄、杜 子威、今井一洋、山口 巖、
北村唯一、内藤祥次

Ⅲ. 協会運営に係る事項

A. 理事会・評議員会の開催

1. 第53回評議員会

日 時：2011年5月27日(金) 15:00～17:00

場 所：東京ガーデンパレス 白鳳

出席者：80名(委任出席68名)

議 題：第52回評議員会議事録署名人について

2. 第53回理事会

日 時：2011年5月27日(金) 15:00～17:00

場 所：東京ガーデンパレス 白鳳

出席者：29名(委任出席20名)

議 題：第52回理事会議事録署名人について

2010年度事業報告の件

2010年度決算報告の件

協会事務局管理規程の件

日本財団助成金申請の件

3. 臨時評議員会

日 時：2011年8月31日(水)

方 法：書面表決

表決者：92名(書面表決)

議 題：理事選任の件

4. 臨時理事会

日 時：2011年8月31日(水)

方 法：書面表決

表決者：30名(書面表決)

議 題：評議員選出の件

5. 第54回評議員会

日 時：2012年3月23日(金) 14:00～16:00

場 所：東京ガーデンパレス 白鳳

出席者：86名(委任出席73名)

議 題：理事監事選任の件

公益法人改革について

6. 第54回理事会

日 時：2012年3月23日(金) 14:00～16:00

場 所：東京ガーデンパレス 白鳳

出席者：28名(委任出席14名)

議 題：2012年度事業計画の件
2012年度収支予算の件
評議員選出の件
役員人事の件
名誉会長推戴の件
運営委員会委員委嘱の件
各種規程の設置について
公益法人改革について

出席者：理事長他8名

議 題：次期日中笹川医学奨学金制度について他

4. 第227回常任理事会

日 時：2011年12月16日(金) 17:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：理事長他8名

議 題：2012年度事業計画案、収支予算案、新定
款の考え方について他

5. 第228回常任理事会

日 時：2012年2月28日(火) 17:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：理事長他5名

議 題：2012年度事業計画、予算、各種規程、新
定款案について他

B. 常任理事会の開催

1. 臨時常任理事会

日 時：2011年4月15日(金) 17:00～18:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：理事長他5名

議 題：東日本大震災発生に伴う協会の対応につ
いて、2012年度以降の共同研究助成事業
について他

2. 第224回常任理事会

日 時：2011年5月13日(金) 17:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：理事長他9名

議 題：2010年度事業報告書案、収支決算書案、
第53回理事会・評議員会議題案について
他

3. 第225回常任理事会

日 時：2011年7月7日(木) 17:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：理事長他5名

議 題：協会の現状、臨時理事会・臨時評議員会
の開催について他

4. 第226回常任理事会

日 時：2011年9月9日(金) 17:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所

C. 公益法人改革への対応について

(1) 第3回公益法人改革について検討する準備委員会

日 時：2012年2月24日(金) 17:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：森岡恭彦 副会長

安達 勇 理事長

篠崎英夫 常任理事

金井 浄 監事

概 要：定款試案について検討した。

(2) 常任理事会における審議・決定

2012年2月28日(火)開催の第228回常任理事会は、
新定款試案について協議を行い、第54回理事会・評
議員会においてご意見を伺うことを決定した。

(3) 第54回理事会・評議員会における議決

2012年3月23日(金)開催の第54回理事会・評議員会
は、評議員選定委員会委員の変更、最初の評議員候
補者について審議・決定した。また、新定款試案に
ついて理事・評議員からご意見を伺った。

D. 事業計画・財務委員会の開催

1. 第5回事業計画・財務委員会

日時：2011年12月14日(水) 18:00～20:00

場所：日中医学協会事務所

出席者：酒谷委員長他9名(委任出席4名)

議題：2011年度実施事業、財務状況について
2012年度事業計画案、収支予算案について

E. 各運営委員の委嘱

寄附行為第33条及び運営委員会規程第3条、第4条に基づき各運営委員を委嘱。

2012年3月23日第54回理事会は、任期満了に伴い事業計画財務委員会、共同研究助成事業委員会、広報委員会及び日中笹川医学奨学金運営委員会の各委員を委嘱した。

1. 事業計画財務委員会委員の委嘱

a. 委員：

委員長

酒谷 薫 日本大学医学部教授

委員

江藤一洋 日本歯科医学会会長

緒方 剛 茨城県筑西保健所所長

住吉金次郎 佐田厚生会佐田病院副院長

林 謙治 国立保健医療科学院院長

山中宣昭 東京腎臓研究所所長

正山征洋 長崎国際大学薬学部教授

小川 忍 公益社団法人日本看護協会常任理事

姚 建 山梨大学大学院医学工学総合研究部准教授

b. 任期：2012年4月1日～2014年3月31日

2. 共同研究等助成事業委員会委員の委嘱

a. 委員：

委員長

武藤徹一郎 公益財団法人がん研究会上席常務理事

・メディカルディレクター

委員

跡見 裕 杏林大学学長

荒木 孝二 日本歯科医学会副会長

五十嵐正広 がん研究会有明病院部長

岩本愛吉 東京大学医科学研究所教授

門脇 孝 東京大学大学院医学系研究科教授

金井Pak雅子 東京有明医療大学看護学部看護学科長

佐藤田鶴子 日本歯科医学会副会長

杉山 清 星薬科大学教授

菅村和夫 宮城県立がんセンター総長

高本眞一 社会福祉法人三井記念病院院長

御子柴克彦 理化学研究所脳科学総合研究センター
チームリーダー

渡邊治雄 国立感染症研究所所長

渡辺純夫 順天堂大学大学院医学研究科教授

渡邊善照 昭和薬科大学教授

b. 任期：2012年4月1日～2014年3月31日

3. 広報委員会委員の委嘱

a. 委員：

委員長

丸 義朗 東京女子医科大学薬理学教授

委員

緒方 剛 茨城県筑西保健所所長

小澤邦寿 群馬県衛生環境研究所所長

笠原正貴 慶應義塾大学医学部特任講師

範 江林 山梨大学大学院医学工学総合研究部教授

矢富 裕 東京大学大学院医学系研究科教授

山田陽城 北里大学北里生命科学研究所教授

輪湖史子 公益社団法人日本看護協会国際部長

b. 任期：2012年4月1日～2014年3月31日

4. 日中笹川医学奨学金運営委員会委員の委嘱

a. 委員：

委員長

橋本敬太郎 横浜薬科大学教授

委員

岩本安彦 東京女子医科大学常務理事

金井Pak雅子 東京有明医療大学看護学科長

塩野元美 日本大学主任教授

田上順次 東京医科歯科大学歯学部長

高橋和久 順天堂大学教授
高松 研 東邦大学教授
田平 武 順天堂大学大学院教授
名川弘一 労働者健康福祉機構理事長
根本則道 日本大学主任教授
花岡一雄 J R 東京総合病院名誉院長
林 謙治 国立保健医療科学院院長
星合 昊 大阪府済生会富田林病院院長
松木則夫 東京大学教授
森山紀之 国立がんセンター
がん予防・検診研究センターセンター長

b. 任期：2012年4月1日～2014年3月31日

F. 日本財団の補助金について

2012年3月5日付で2012年度助成金申請に対する
審査結果が以下の通りあった。

①共同研究等助成金に対する助成

助成金額 12,600,000円

②日中笹川医学奨学金制度第35期研究者受入に
対する助成

助成金額 139,690,000円

③基盤整備事業

助成金額 33,070,000円

日中笹川医学奨学金制度第34期研究者名簿(2011年9月～2012年8月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
王 穎	中山大学附属口腔医院主治医師 顎変形症患者の外科矯正治療に関する調査研究	北海道大学大学院歯学研究科小児・障害者歯科学	加我正行 特任准教授
宋 黄鶴	江蘇省人民医院主治医師 人工股関節置換術	旭川医科大学整形外科	伊藤 浩 教授
李 寧	江蘇省中薬業研究院住院医師 日本と中国における神経疾患および筋骨格系疾患に対する理学療法の現状と最近の動向について	弘前大学大学院保健学研究科理学療法学専攻	對馬 均 研究科長
朱 冰	安徽省疾病予防控制中心主管医師 地域におけるヘルスプロモーション活動の評価	獨協医科大学医学部公衆衛生学	武藤孝司 教授
陳 劍	上海市閔行区腫瘍医院主治医師 神経膠腫細胞に対する炭素線の放射線生物学的効果	放射線医学総合研究所重粒子医学センター次世代重粒子治療研究プログラム実験治療研究チーム	古澤佳也 チームリーダー
鐘 小紅	南方医科大学南方医院主管護師 日中における褥瘡のリスク判定アセスメントツールの開発	東京大学大学院医学系研究科老年看護学／創傷看護学	真田弘美 教授
王 磊	北京大学口腔医学院主治医師 How Different Niches Effect Bone Mesenchymal Stem Cells (BMSCs) in Vitro	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科インプラント・口腔再生医学	春日井昇平 教授
任 明軍	麗水市人民医院主治医師 内視鏡下、下垂体手術治療と周術期管理	日本医科大学脳神経外科学	寺本 明 主任教授
陳 瑞強	中山大学附属第三医院主治医師 慶應義塾大学医学部整形外科	椎間板変性に関する研究	松本守雄 准教授
胡 劍麟	上海市第一人民医院主治医師 男性性機能障害・男性不妊症	東邦大学医学部泌尿器科学	永尾光一 教授
張 一凡	江蘇省衛生監督所衛生監督員 日本と中国の感染制御に関わる法と規制の相違について	東京医療保健大学	小林寛伊 学長
羅 晨輝	湖南省腫瘍医院主管薬師 凝固活性に及ぼす癌化学療法の影響に関する臨床薬学研究	明治薬科大学薬学部薬剤学	高橋晴美 教授
楊 徳剛	上海市皮膚病医院主治医師 ハンセン病の各種病態誘導機構の研究	国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部第八室	鈴木幸一 室長
呉 卓	中山大学孫逸仙記念医院(中山大学附属第二医院)主治医師 肝臓の画像診断	金沢大学大学院医学系研究科経血管診療学(放射線科・放射線治療科)	松井 修 教授
水 源	中日友好医院住院医師 脳神経疾患への経頭蓋磁気刺激療法に関する基礎的研究	金沢医科大学医学部生理学 I	加藤伸郎 教授
高 坤	江蘇省中医院(南京中薬大学附属医院)主治中醫師 腎臓における細胞間コミュニケーションの役割	山梨大学大学院医学工学総合研究部分子情報伝達学	姚 建 准教授
蔣 琦亮	上海市胸科医院(上海交通大学附属胸科医院)主治医師 静脈麻酔薬の薬力学、薬物動態の出血性ショックでの変化	浜松医科大学医学部麻酔・蘇生学	佐藤重仁 教授
李 惠	哈爾濱医科大学附属第二医院主治医師 炎症性大腸癌におけるRalの役割	京都大学大学院医学研究科消化器内科学	仲瀬裕志 講師
崔 石磊	復旦大学附属華東医院主治医師 喘息・慢性咳嗽における気道炎症の関与	京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学	三嶋理晃 教授
孟 凡斌	中国医科大学附属第一医院医師 膵臓癌の総合治療	京都大学大学院医学研究科肝胆膵・移植外科学	上本伸二 教授
余 潜	南京市第一医院主管薬師 製剤添加物を用いた薬物の消化管吸収性の改善	京都薬科大学薬剤学	山本 昌 教授
陳 巍	首都医科大学附属北京児童病院住院医師 胆道閉鎖症に関する臨床的研究と胆道閉鎖症患児における生体肝移植に関する研究	大阪大学大学院医学系研究科小児成育外科学	福澤正洋 教授
杜 大江	哈爾濱医科大学附属第二医院副研究員 大型骨欠損治療のための幹細胞を用いた骨再生医療の最適化	大阪大学大学院医学系研究科整形外科	吉川秀樹 教授
熊 宇	中国人民解放軍第三軍医大学第一附属医院(重慶西南医院)主治医師 新規抗菌性根管充填材の根管象牙質への接着特性の解析	大阪大学大学院歯学研究科歯科理工学	今里 聡 教授
尹 曉燕	青島大学医学院附属医院主治医師 endoscopic diagnosis and treatment of early gastric cancer	神戸大学大学院医学系研究科消化器内科学	東 健 教授
孫 鋒	合肥市疾病予防控制中心衛生医師 Management of chronic non-communicable diseases and health promotion in Japan	島根大学医学部環境予防医学	塩飽邦憲 教授
楊 英超	中国薬品生物製品検定所助理研究員 無細胞タンパク質発現システムを用いたマラリアワクチンの研究	愛媛大学無細胞生命科学工学研究センタープロテオーム・医薬部門	坪井敬文 教授
楊 玉麗	寧夏医科大学附属医院護師 がん患者家族への看護	高知県立大学看護学部がん看護学	藤田佐和 教授
陳 曉輝	福建省腫瘍医院医師 肺癌組織に於けるKGF/KGFR発現とエピジェネティック因子動態	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科組織細胞生物学	小路武彦 教授
夏 品蒼	福建省疾病予防控制中心医師 エイズの疫学研究	長崎大学熱帯医学研究所国際保健学	山本太郎 教授

監査報告書

2011年4月1日より2012年3月31日
までの事業について、記録に基づき監査いたしました。

その結果、当期に実施した事業が寄付行為に基づいて適正に行われたことを確認しました。

2012年 5月18日

監 事 金 井 浄 印
公認会計士

監 事 杉 本 恒 明 印

2011年度事業報告
財団法人日中医学協会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-3
住泉KMビル6階
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2012年6月
発行人 安達 勇